



柚子の香

令和8年 3月16日
八王子市立上柚木中学校だより
第11号（通算363号）
校長 三田村 裕

1年間、ありがとうございました

3月19日（木）、それぞれの進路先へと向かい、3年生が本校を巣立っていきます。そして2年生も1年生も、それぞれが着実に前に進み、4月には一つ上の学年へと進級します。

教職に就いて41年。これまで実にたくさんの生徒の卒業・進級を見守ってきましたが、1年前や入学時と比べ成長した生徒一人一人の姿に何度喜び胸を熱くしたことが。私たち教師が、最も達成感を抱き幸福感を味わう時期でもあります。

こうした生徒一人一人の成長に対する喜びに、今年度末は、長崎修学旅行、農業体験移動教室、授業改善推進拠点校としての授業改善の取組等、上柚木中学校の教育の充実のために数年かけて取り組んできたいくつもの挑戦が花を開き実を結んだという達成感や満足感が加わりました。

詳細は間もなく配信する「八王子市立上柚木中学校令和7年度学校経営報告」で報告させていただきますので、それをお読みいただければと思いますが、今年度は学校経営計画に掲げた各項目のほとんどの事項を高度に達成することができました。そして、様それらについて、生徒はもちろん、保護者の皆様から、高い評価をいただきました。

手前味噌となって恐縮ですが、少ない人数で、それゆえ規模の大きい学校に比べ担当職務を多く抱えながらも、本校教職員はよりよい教育の実現に向けよく取り組みました。そしてそのような教職員の教えや導きに、生徒たちは実に前向きかつ素直に応えました。

このように昨年度に引き続き、いえ、今年度はこれまでよりもはるかに強くて確かな手応えを感じて令和7年度を終えられます。このことに安堵するとともに、こうして1年間を終えられるのも、保護者や地域の皆様に温かなご支援を様々ないただいたおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度の上柚木中を振り返って

教育課程の実施状況

教務担当主幹教諭 田中 博之

今年度は八王子市教育委員会の方針を受け、週の授業時数を昨年度までの週の授業時数から1時間少ない27時間で実施し、月曜日を5時間目までとしました。また、令和7年5月から令和8年1月にかけて、令和6・7年度 東京都教育委員会授業改善推進拠点校・八王子市教育委員会研究奨励校としての取組で研究授業を9回実施しました。これらにより各教科の授業進度に若干差が生じました。しかし、各教科間で授業の入れ替え等授業進度を調整し、教育課程を全て終了することができる見通しです。

月曜日を5時間授業としたことで、月曜日の放課後は他の曜日よりも早い時間から部活動を始められたり、委員会活動や生徒会活動の時間を設定しやすくなったりと、学校生活に少しゆとりが生まれました。そのため、次年度も週の授業時数を27時間とし、月曜日の授業を5時間にします。今年度の経験を生かし、授業の調整を適宜行います。

来年度の学校行事及び保健行事予定一覧表に関しましては、4月に配布するとともに、ホームページに掲載します。

学校保健

主幹教諭(養護) 行富 歩

卒業式・修了式が間近に迫り、令和7年度が終わろうとしています。東日本大震災から15年の節目を迎え、日本中が大混乱の中で、「計画停電」に右往左往しながら卒業式の準備を進めていたことが、胸の痛みとともに思い出されます。

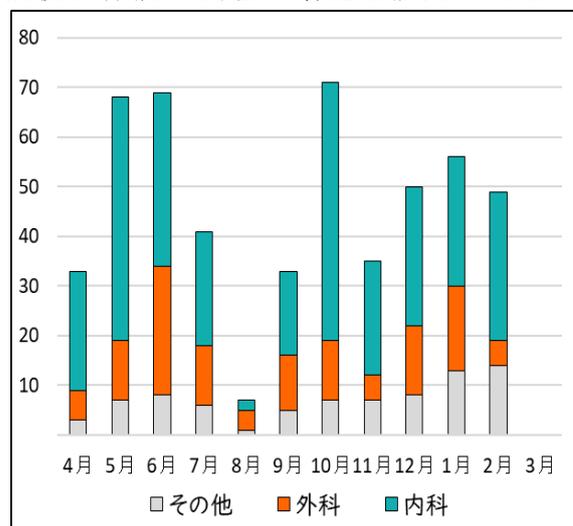
さて今年度を振り返り、大過なく年度末が迎えられることを、学校保健に携わる者として、何より幸せだと思います(もちろん、3月31日までもそれ以降も、気を抜かず生徒たちを見守ります!)

生徒一人一人が健康で過ごせたのは、保護者の皆様がお子様の体調管理に日々気を配ってくださったおかげです。ありがとうございました。

保健室の1年を『保健室利用者数』(グラフ参照)から振り返ります。本校は、けがより内科的な症状(腹痛・頭痛・悪心)での利用者が圧倒的に多いこと、またけがでの来室数の割合は男女でほぼ変わらないのですが、内科での来室者は女子が圧倒的に多いことが特徴です。また、利用者が多かったのは5・6・10月。5月は修学旅行、6月は体育祭、10月は合唱祭と、大きな学校行事の前後に体調不良者が増える傾向のあることが分かります。

保健室では、けがや体調不良者の手当だけでなく、生徒たちが安心して学校生活を送れるよう生徒たちの気持ちに寄り添いながら、一緒に問題解決をしていけるよう努めています。お子様のことで心配なことがありましたら、遠慮なくお知らせください。

今年度も学校保健活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。また次年度も変わらないご協力を、改めてよろしくお願いいたします。



第1学年

第1学年主任 田代 憲一

小学生の面影が残るあどけない顔で入学した生徒が、1年間で立派な中学生の顔となり、毎日楽しく充実した学校生活を送っています。初めて経験する中学校の体育祭、合唱祭、移動教室などで戸惑うこともあったかと思いますが、持ち前の明るさと元気の良さを生かし、クラスで団結して取り組むことで、一人一人の成長が見られました。



学校行事の体育祭や合唱祭では、実行委員を中心に昨年の経験を生かして取り組みました。そのほかにも、移動教室や職場体験を行いました。移動教室は、中学生になって初めての宿泊行事でしたが、1泊目の農家民泊ではふだん体験できない農家の生活を体験させていただきました。1日目の対面式では生徒たちはみんな不安そう

でしたが、2日目に再会したときのいろいろな体験をしてきた満足げな表情が印象的でした。天候に恵まれず、星空観察ができなかったことや雨の中のハイキングは残念でしたが、移動教室での経験を修学旅行にもつなげていきたいと思います。11月には3日間の職場体験を行い、多くの生徒が有意義な時間を過ごしました。まとめとしてポスターセッションを行い、それぞれの仕事のやりがいと大変さを共有することができました。

ふだんの学校生活では、委員会の委員長や部活動の部長として活動の中心となることが多くなりました。2年生は人数が少ないため、これまであまりリーダーとして前に立たなかった生徒も、長として動かなければいけない場面が出てきます。先輩に任せていたことを中心となって進めるにあたり、どのように活動するのか、どう伝えればいいのかを悩み、苦勞している様子も見られます。それでもお互いに声を掛け合い、協力しながら成長しています。

今年度、私たちは学年目標に「自ら決める～中堅学年として、自覚と責任をもって行動する～」を掲げました。行事や学校生活の中での成長は、この目標が形になって表れてきたと感じています。

一方で、1年次から継続して取り組んできた「周りへ目を向けること」は今後も向き合いたい課題です。自分のことで精いっぱいだった1年生、自分の役割に向き合えるようになった2年生。これまでは自分の足元を固める時期でしたが、3年生では集団としての質をさらに高め、進路に向かっていきたいと思います。受験は個人戦のように見えて、実は集団の空気感に左右される団体戦でもあります。お互いの頑張りを認め、支え合える集団として、一人一人が納得のいく道を見付けられるよう、全力でサポートしていきます。

1年間、ご理解とご協力をありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

第3学年

第3学年主任 五十嵐 育子

卒業式まで、残すところあと僅かとなりました。長かった義務教育も終わりを迎えます。「620日」。これは、中学校3年間の授業日数です。こんなにも多くの時間を上柚木中の校舎で共に過ごしたのかと思うと感慨深いものがあります。入学当初はあどけない顔をしていた生徒も、月日と共に大人っぽくなりました。私たち中学校の教職員は、その成長を楽しみに、日々生徒たちと生活しています。



築くことができたと思います。

また、体育祭では、「後輩たちにかっこいい姿を見せよう」と真剣勝負の戦いを繰り広げました。一つずつ結果に一喜一憂しながらも、お互いのクラスの頑張りに拍手を送る姿には、学年の大きなまとまりが感じられるようになりました。二つの大きな行事をこなす中での1学期末考査も、さすがの3年生です。スイッチの切り替えが早く、学習に集中する雰囲気がいっしょとできていました。

2学期に入ると、高校見学や模擬テストの話題が多くなり、志望校を決定していく緊張感のある日々が始まりました。一方で、中学校生活最後の行事である合唱祭にも全力投球です。実行委員が中心となった3年生らしい自主的な取組は、後輩への良いお手本となり、当日はどのクラスも、それぞれの雰囲気がそのまま歌に表現された素敵な歌声を披露することができました。生徒たちのやり切ったときの表情は今でも覚えています。

そして、余韻を味わう暇もなく数か月にわたる受験シーズンがスタートしました。世間ではインフルエンザが流行った時期もありましたが、上柚木中では大きな影響もなく、また、受験風邪に見舞われることもなく、最後まで学年全員で「受験」に立ち向かっていくことができました。

3学年の課題であった提出物や時間への意識は、最後まで言い続けなければならない結果でしたが、それ以上に3年間で成長できたことはたくさんあります。これからも失敗を恐れず、自分磨きをしていってほしいと思います。

3年間、多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。今後とも地域の大人として、上柚木中の生徒を見守っていただきたいと思います。



授業改善推進拠点校としての取組

研究主任 大橋 里

本校は東京都教育委員会より授業改善推進拠点校の指定を受け、令和6・7年度の2年間をかけて研究を進めてきました。主な目的は、「主体的に学習に取り組む態度」を伸ばすための授業改善を行い、学力向上につなげることです。上柚木中生の「主体的に学習に取り組む態度」に対する課題を明確にし、課題を解決すべく全教科で授業改善に取り組みました。

課題と解決策については生徒にも理解を図り、教職員と生徒が一丸となって共に進めたことにこの研究の特徴があります。

2月20日（金）に研究の成果を本校体育館で発表いたしました。全国から300名を超える方々がお越しくださいました。中学校が行う研究発表会においてこれだけの人数が集まることは珍しく、多くの学校から注目していただいたことは、私たちにとっても大変励みとなるものでした。発表会を迎えるにあたり、生徒も一緒に校内の整備や清掃を行ってくれました。時間を過ぎても一生懸命に校内を清掃する姿は本当に頼もしく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。当日は雪が降りそうな寒い一日となりましたが、学校運営協議会やPTAの皆様が南大沢駅から上柚木中学校までの道案内や受付をしてくださいました。また、ボランティア生徒が校内の案内をしてくれ、元気で明るい対応に多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。まさに全員が一つになって進めた研究だったと心が熱くなりました。研究発表会を無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

当日ご参加いただいた方々からのお声を少しご紹介します。

・校門や受付で挨拶してくれていた生徒さんが、とても爽やかで気持ちよく感じた。子どもたちに、フィードバックしてあげてください。ありがとうございました。（島根県）



・門の前で生徒さんが気持ちのよい挨拶をしてくれたことがとても嬉しく思いました。（静岡県）

・南大沢駅から御校までの道案内として曲がり角に立ってくださった方々、到着後、明るい笑顔と元気な挨拶で迎えてくださった生徒のみなさま、教職員の方々に心より感謝申し上げます。そのあたたかいホスピタリティは、上柚木中学校のみなさまが一丸となって研究にとりくまれ大きな成果を上げられたことにつながっているのだと感じました。（大阪府）

次に研究の概要と成果について、どのような研究を進めてきたのか、概要と成果を中心にご紹介します。

本校の課題

東京都教育委員会が作成した「学びに向かう力、人間性等」に関わる意識調査（主体的に学習に取り組む態度に関する意識調査）から、意識の低かった項目に注目し、次の5点を課題としました。

- ① 確実にできるようになるまで、繰り返し練習している。（粘り強さ）
- ② 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。（粘り強さ）
- ③ どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。（学習の調整）
- ④ 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。（学習の調整）
- ⑤ 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。（アウトプット）

研究主題

これらの課題を解決するために

生徒一人一人が自分の考えをもてる授業づくり

—『主体的に学びに向かう力』を伸ばす授業改善—

「自分の考えをもつ」というゴールを設定することで、自分の考えをもつまでの過程の中で、あきらめずに取り組もうとする姿や学習を工夫しようとする姿がみられるのではないかと考えました。

全員で取り組んだ授業デザイン

研究主題に迫るために、右の図のとおり全員で同じデザインの授業を実践しました。このデザインは「上柚木学習スタンダード」として継続していきます。

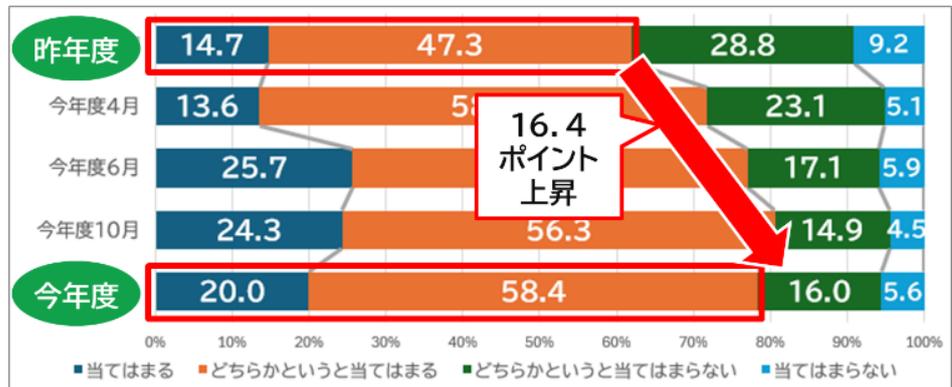
→日本教育新聞で本校の研究発表及び授業デザインを取り上げていただきました。
(日本教育新聞 2026年2月25日記事より)



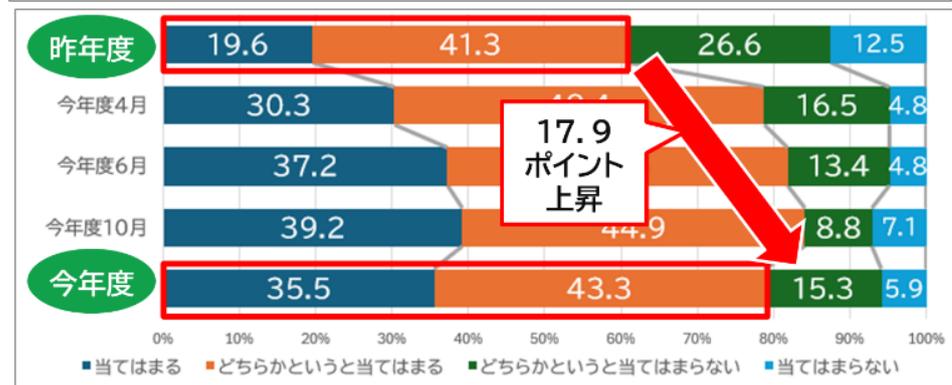
成果

当初課題だった5つの項目すべてにおいて肯定的回答の数値が上がり、成果を確認しました。(下のグラフは左側から当てはまる、どちらかという当てはまる、どちらかという当てはまらない、当てはまらないの順に%の数字が並んでいます。)

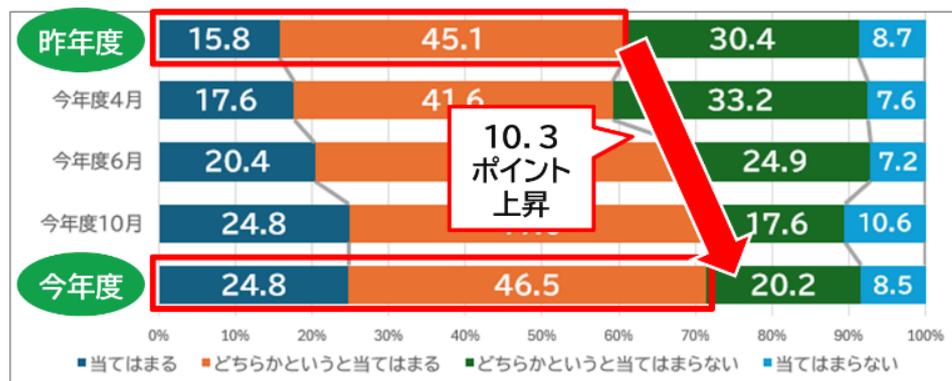
・ 確実にできるようになるまで、繰り返し練習している。(粘り強さ)



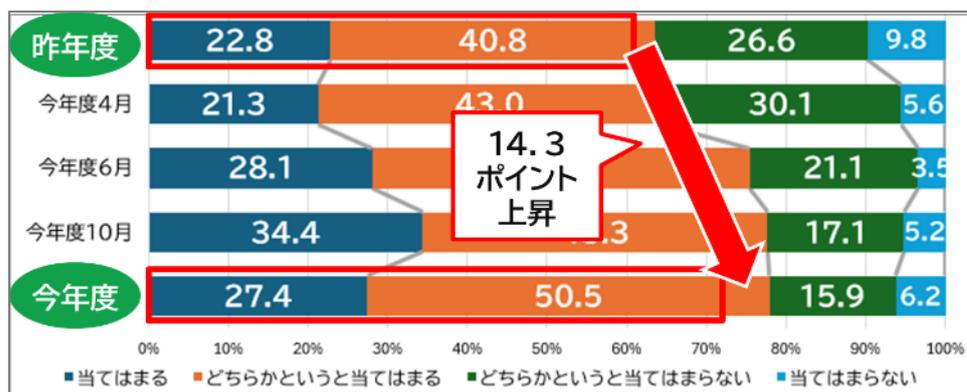
・ 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。(粘り強さ)



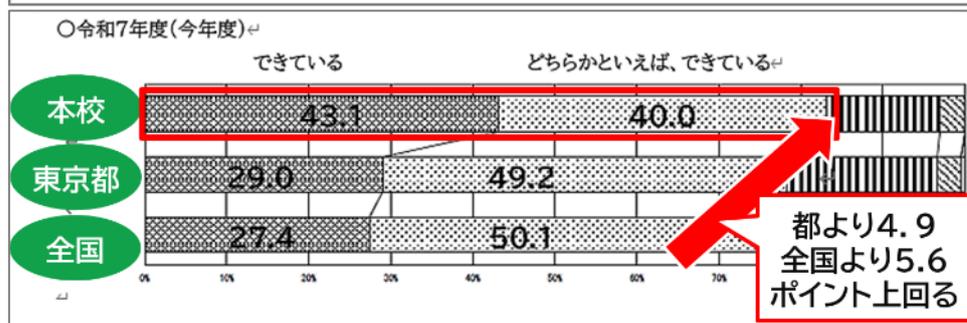
・ どうやったらうまくいくかを考えるから学習を始めるようにしている。(学習の調整)



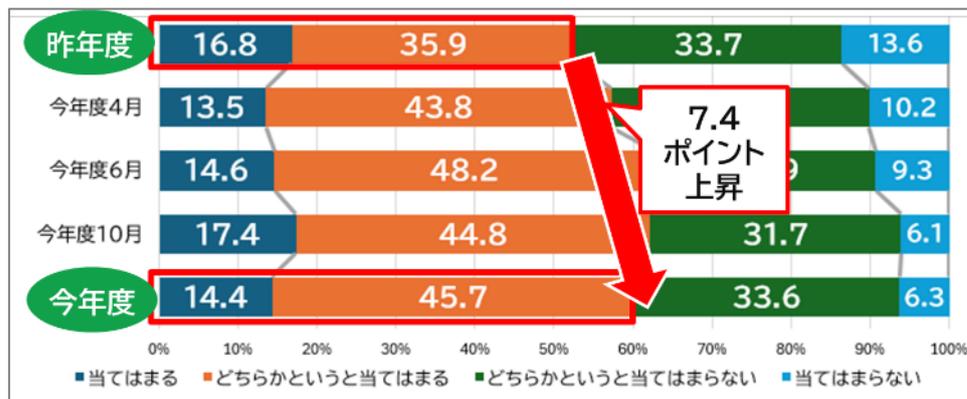
・学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。(学習の調整)



「全国学力・学習状況調査」においても、学習の工夫について意識の高まりがみられました。



・自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。(アウトプット)



これら課題としていた「主体的に学習に取り組む態度」に関する意識については概ね向上しましたが、「全国学力・学習状況調査」や八王子市の学力調査については学年によっても差はありますが、平均程度となっています。意識を高めながらも学力向上につなげられる授業改善に今後一層力を入れていきたいと思えます。

令和8年度移動教室について

第3学年主任 五十嵐 育子

令和8年度、本校の1学年移動教室は、高尾の森わくわくビレッジでの1泊宿泊体験学習を予定しています。

ここ数年、上柚木中ではクラス数の減少が続き、現2年生は単クラスとなっています。その対策と職場体験との抱き合わせも考えたうえで、今年度は1・2学年合同の農業体験を含めた南信州移動教室を実施しました。3日間、日常生活から離れた大自然の中で過ごした生徒たちの満足度も高く、良い体験ができたようです。しかし、いくつか課題も残りました。一つは、生徒数が少ない中での物価上昇に伴う一人当たりの費用面の高さです。本校は、3年次に長崎修学旅行を実施するために、ある程度の費用がかかります。そのため、3年間に2度の高額な宿泊行事は家庭の負担も大きいと考えました。

宿泊行事のねらいは、行く場所でそれぞれ異なりますが、共通点は「集団行動の基本を学ぶこと」にあります。それを基に、令和8年度の移動教室を再考しました。

まず、1年生として集団の規律、班活動の基本を身に付けること、また、様々な学習の仕方を身に付けることを軸に、いくつかのパターンを考えました。ここでネックになったのがやはり費用面です。新幹線やバスでの移動は関東圏内でも高額になり、旅行会社によるとバスの運転手不足、ガソリン代の高騰は今後も続くとのことでした。それであれば、あえて遠くまで行かなくても往復の時間を有効に使える近隣で、中身の濃い学習を実施できるのでは……と、わくわくビレッジでの実施の検討が始まりました。実施を夏休み中にし、教科別学習セミナーには、上柚木中の全教員がサポートに参加する、またフィールドアスレチックや飯盒炊さん、プロジェクトアドベンチャーなど、仲間同士で協力しながら様々な活動に取り組む内容を取り入れるなど、仲間と協力するチームワークの力を育むことをねらいとしました。詳細は次年度の1学年で決めていきますが、1泊2日でありながら、時間を有効に使ったプログラムを予定しています。また、課題の費用面も、旅行会社を通さないためにかなり抑えることができます。

本校では、学校教育の変化に対応すべく常に行事を精査し、新しいことに挑戦していますが、今回の移動教室も新たな取組です。今後に生かせる内容となるよう、更なる検討をして参ります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

上柚木中生の活躍

敬称略

吹奏楽部	第59回 東京都中学生アンサンブルコンテスト	銀賞	〇〇〇〇 〇〇〇〇(2年生) 〇〇〇〇(1年生)
------	---------------------------	----	-----------------------------

4月末までの主な行事

3月16日(月) 生徒会朝礼、給食最終日	4月15日(水) 身体計測
17日(火) 卒業式予行、避難訓練	17日(金) 専門委員会、あじさい保護者会
18日(水) 卒業式準備	20日(月) 全学年保護者会、 修学旅行保護者会(3年)
19日(木) 卒業式	21日(火) 中央委員会
24日(火) 特別清掃	22日(水) 歯科健診、UT開始
25日(水) 修了式、離任式	23日(木) 全国学力学習状況調査、 内科健診
4月6日(月) 始業式、着任式	24日(金) 眼科健診
7日(火) 給食開始(2・3年)	27日(月) 生徒会朝礼、避難訓練、 聴力検査(3年)
8日(水) 入学式、保護者会(1年)	28日(火) 聴力検査・心電図(1年)
10日(金) 健康診断開始、給食開始(1年)	
13日(月) 生徒会入会式、部活動説明会	
14日(火) 安全指導、専門委員会	

※学習教室は5月から行います。